

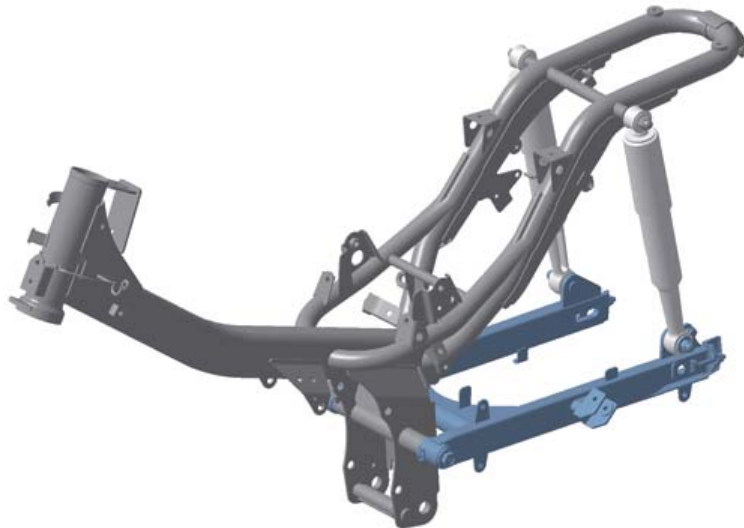
フレームボディ

110 cc化による動力性能の向上に見合ったフレームとするために、従来のバックボーン+プレスフレームを専用の新設計バックボーンフレームへと刷新しました。

メインパイプはφ47.6mmの丸断面から60mm×47.6mmの四角断面に変更、プレスモノコック部を鋼板から丸パイプとピボットプレートの構成に変更する事で、ねじれ剛性は29%、トータルの剛性は19%向上しました。

又、フレームの重量は、排気量アップに伴う動力性能向上に対応しながら、従来のフレームと同等の重量に抑えました。

スーパーカブ110の新しい車体は、スイングアームやサスペンションの刷新とともに、乗り手の操作に対して素直で、通勤用として安心感を持てる特性とし、また車体振動の低減もはかられています。



スイングアーム

完成車全体の剛性バランスを取り、安心感のある操縦性を獲得する為に、スイングアームをプレスのモノカタイプから四角断面パイプに変更。スイングアーム単体で、ねじれ剛性は87%、トータルの剛性は48%向上しました。

